

# 山縣市立富岡保育園の民間移管に係る 説明・意見交換会要点会議録

【開催日時】 令和3年5月27日(木)午後7時00分～午後7時50分

【開催場所】 富岡地区公民館 ホール

## 【出席者】

- (1)市役所 子育て支援課長ほか8名
- (2)保育園 富岡保育園長ほか3園長
- (3)移管先法人 (学法)春日学園 理事長ほか2名
- (4)参加者 12名

## 1. 市からの説明

- ・ 「措置制度」から「契約制度」へととなっている中で、新たなサービス増強を目指し、保護者等の選択肢を増やすのが主眼(他自治体の多くは公私混在)。
- ・ 本市の進め方は、特定の保育園を決めてから公募する方法ではなく、民間からの活躍可能保育園の提案を審査する方法により実施。
- ・ 直近経緯は、令和2年7月に児童福祉審議会答申を受け、民営化指針を策定後、公募結果を専門部会(大学教授、公認会計士、司法書士、市教育長・園長代表)で審査、議決。
- ・ 移管先法人は「学校法人 春日学園」。特徴は生後6ヶ月からの保育を実施予定、認可保育園として開園、現在の富岡保育園での土曜日保育は在園児対象に7時30分から19時まで実施予定。
- ・ 保育料は、公立・私立を問わず、市が決めるので変わらない(以上児は給食費含めて無料)。なお、未満児の保育料徴収は、これまでどおり市が徴収。
- ・ 今後、様々なことを「三者協議会」で検討していく予定。この時の資料、質問・意見等の要点はホームページに掲載及びコドモンで配信していく予定。なお、三者協議会は、民営化後も1年間は継続し、市も逐次確認していく予定。
- ・ 今後、質問・意見等は、市役所又は保育園にて、電話・口頭・メールなどにより、いつでも受け付ける。こうした意見等も、三者協議会での検討材料としていく予定。

- ・ 基本的には、現状の保育水準以上での継承を目指す。また、園児や保護者の混乱・不安等の回避に極力配慮していく。

## 2. 法人からの説明

- ・学校法人春日学園の現状(幼稚園)
  - ※2幼稚園の現状、保育目標、職場目標、園児の体力・運動能力・知能レベル等
- ・移管後の民間保育園の運営について
  - ※園長・主任保育士の紹介、幼保連携強化、保育プログラム、現状の保育を尊重し、ドラスティックな変化は予定していない等

## 3. 質問・意見交換

○現在の正職員の保育士が残る可能性は

→(市)本人の希望を尊重するので現時点では不明。ちなみに、先般、会計年度任用職員の意向を確認したところ、大半の回答は「現時点ではわからない」という内容であった。特に会計年度任用職員には少しでも残っていただきたいとの思いもあるが、今後、本人の希望を尊重しながら詰めていく。

○自園調理給食はどうなるのか

→(法人)基本的に自園調理をしていく。ただ、調理は唯一の施設火災リスクでもあり、将来的には近隣施設での調理を検討していく可能性もある。

→(市)市立保育園の献立の共有化はしていきたいと考えている。

○長期休暇というものはあるのか

→(法人)今の保育園と同じ考え。なお、幼稚園には長期休暇の制度があるが、預かれる体制になっている。ちなみに、警報等の際に休園したことは一度もない。